

停電時の操作



警告

緊急にシャッターを動作させる必要があるとき以外は、停電が復旧するのを待ってから通常操作を行ってください。やむを得ず操作する場合は下記の事項を確認してください。

- 操作をする前にシャッターの電源（コンセントまたはブレーカー）を必ず切ってください。
- 高所作業を伴う場合は、ヘルメット・安全帯の着用、必要な足場の確保など、墜落・転落事故を予防してください。
- シャッターの下に、人や物がない事を確認してから操作してください。
- 操作が終了するまで、他の人がセレカードや押しボタンスイッチを操作しないように周知してください。
- 点検口を開けるときは、ショートリンクチェーンなどが落下してくる場合がありますので、ご注意ください。（ショートリンク仕様のみ）
- 25～26ページの手順に従って操作してください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合があります。
- お客様が停電時の操作をする際、少しでも不明な点、不安な点がある場合は44ページ記載の文化シャッターサービス株式会社まで作業をご依頼ください。
- ブレーキ開放レバーにてシャッターを降下させる場合、電動による通常の閉鎖よりも速いスピードでシャッターが降下します。操作中はシャッターから目を離さず、いつでもブレーキ開放レバーから手を離してシャッターを停止できるようにしてください。

注 記

- 開けるときは、所定の高さでとめ、巻き上げすぎないようにしてください。

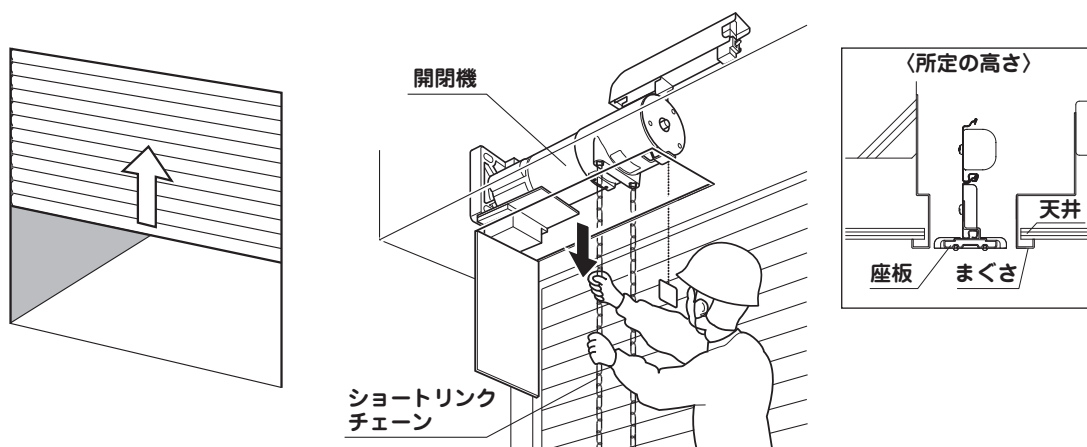
点検口を開ける

点検口を開けます。点検口はシャッターが収納されるシャッターケースの下面、または天井面にあります。

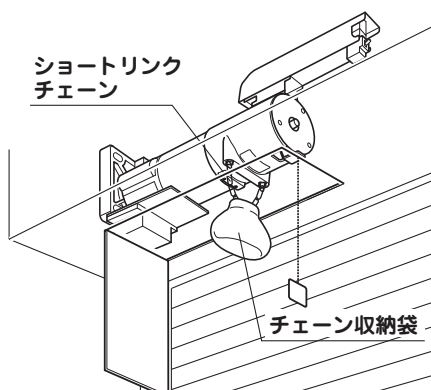
閉まっているシャッターを開ける

1 シャッターが停止していること、電源が切れていること、シャッターのそばに人がいないこと、物がなことを確認し、点検口を開けます。（点検口はシャッターケースの下面または天井面にあります）

2 チェーン収納袋からショートリンクチェーンを取り出し、カーテンから遠い方のショートリンクチェーンを引くと、シャッターが開きます。座板が所定の高さ（まぐさ下端）に達したら、巻き上げるのを止めてください。



3 巻き上げが完了したら、ショートリンクチェーンをチェーン収納袋に収納してください。

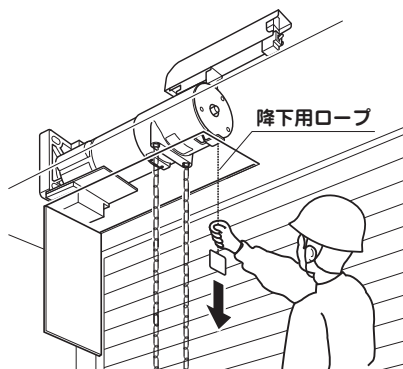
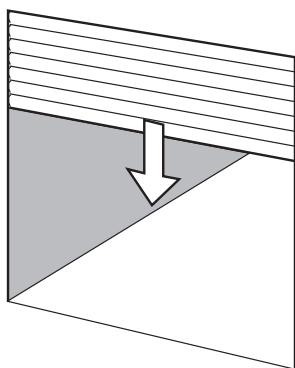


開いているシャッターを閉める

1 シャッターが停止していること、シャッターのそばに人がいないこと、物がな
いことを確認し、点検口を開けます。（点検口はシャッターケースの下面また
は天井面にあります）

2 点検口を開けて、開閉機を確認します。

3 降下用ロープを下方に引くと、シャッターが閉まります。降下用ロープを放すと、
シャッターは止まります。



警告

降下用ロープにてシャッターを降下させる場合、電動による通常の閉鎖よりも速いスピードでシャッターが降下します。操作中はシャッターから目を離さず、いつでも降下用ロープから手を離してシャッターを停止できるようにしてください。

停電復旧後の操作

- 停電から復旧した時のシャッターの状態で復帰操作方法が変わります。下記をご確認ください。

シャッターが全開で停電から復旧した場合

- 電源復旧後、特別な操作は必要ありません。そのまま通常どおり操作が可能です。

シャッターが全開以外から復旧した場合

- 復帰操作が必要となりますので次の操作をおこなってください。
- 復帰操作完了するまで、3秒おきにブザーが鳴ります。

リモコンにて「STOP（とまる）

押しボタンスイッチの場合は「OPEN（あける）

全開で停止後、ブザーが止まり、その後は通常どおり操作が可能になります。

9. 修理のご案内

いつでも安心

シャッター、ドアに関する修理・取替、点検のご相談は、お気軽に下記の文化シャッターサービス株式会社フリーダイヤルまでお電話ください。

アットタイムサービスシステム



0120-365-113

- 24時間365日受付
※一部の地域（離島など）については、対応できない場合があります。
- 携帯電話からもつながります
- 最寄りのサービスステーションにつながります

